

令和5年度 第2回学校運営協議会議事録

校名	府立河南高等学校
校長名	仲谷 浩

開催日時	令和 5年 12月 20日(水) 15:00～16:00
開催場所	府立河南高等学校 2階 校長室
出席者(委員)	吉川会長、山根委員、森本委員、恵島委員、湯井委員
出席者(学校)	仲谷校長、加藤教頭、寺田事務長、竹田首席、倉原首席 内本教諭(特活係)
傍聴者	なし
協議資料	授業アンケート結果、広報活動の報告、学校教育自己診断について、従業力向上チーム報告、進路状況の中間報告、今年度の行事を終えて
備考	

議題等(次第順)

- (1)現状報告  
 ①授業アンケートの結果について  
 ②広報関係活動の報告～活動中間報告  
 ③学校教育自己診断実施に向けて  
 ④授業力向上チームより活動報告  
 ⑤進路状況～中間報告  
 ⑥今年度の行事を終えて  
 ⑦その他  
 (2) 質疑応答

広報活動について、塾の訪問等とても丁寧な活動をされているとの意見をいただいた。また、HPへの情報提供やSNSの利用など情報ツールを使って河南高校をアピールすればとの意見をいただいた。  
 学校教育自己診断については、保護者の回答率についての質問があり、今現在、昨年度より多くの回答をいただいていると報告した。  
 授業力向上チームの活動については、主体性を100点法で成績をつけるとどのような状況になるのかという、真ん中(5段階では3.5)あたりが多くなり、それより上または下が極端に少なくなるのではないかと質問をいただいた。今のところ、考えているよりも上下の差が出ているが、評価も煩雑になってしまうので、ABCの3段階で評価していくように教務に提案する予定です。  
 学校の始業をもう少し遅らせることが出ないか、親も生徒も朝が忙しく時間がない。また遠方からの通学する生徒も通学しやすくなるため、ぜひ考えていただきたい。私立の学校は設備面も時間面も競争することができないくらい差がついているので、カリキュラムを工夫して、時間面で特徴を出すようにしてほしい。文科省や教育委員会からの様々な縛りがあり、学校だけの努力だけでは不可能であるが、自主室での学習する時間の確保やクラブ活動など保護者や地域の方々との協力していただき、その縛りを少しでも緩くなるように進言していただかないとできないことであるご意見をいただいた。  
 南河内のようなところほど、地域に公立高校がなくなれば、子どもたちに大きな影響が出てしまうとの意見をいただいた。来年度の定員が増えたことで、今まで河南高校をあきらめていた子どもたちの励みになるので頑張ってほしいとの意見もいただいた。

次回の会議日程

日時	令和6年 3月26日(木) 15:00～
会場	大阪府立河南高等学校 校長室